

2018 vol.55

UR

UR都市機構の情報誌 [ユーアールプレス]

P R E S S

特集 まちを守る
暮らしを守る URの防災への
取り組み



Special
Interview

経験を重ねるほどに
難しさが増す役者の仕事。
DIYで気分転換！

女優

とよた真帆さん



01 暮らしのカケラ⑥ 「ちいさい秋ならぬ、短い秋」 角田光代

03 Special Interview 未来を照らす⑩

とよた真帆さん 女優

経験を重ねるほどに難しさが増す役者の仕事。DIYで気分転換！



07 特集

まちを守る 暮らしを守る URの防災への取り組み

09 大学キャンパスと一体になった美しい防災公園が誕生

岩倉公園 大阪府茨木市

13 URが手がけた防災公園

みなとのもり公園(神戸市中央区)、桜の森公園(三重県鈴鹿市) 内田防災公園(愛知県犬山市)、西ヶ原みんなの公園(東京都北区)

15 密集市街地を、安全で魅力あるまちに変える

京島三丁目地区(東京都墨田区)、門真市本町地区(大阪府門真市)

17 ノウハウを活かし、事前防災を支援 和歌山県海南市、徳島県美波町

19 楽しい団地

中登美第3団地 奈良県奈良市 ゆるゆると仲間が集まり、夏祭り復活！

洋光台団地 横浜市磯子区 まちの交流拠点となる中央広場が完成

23 URのまちづくり最前線⑨

圧倒的な「みどり」で人々をつなぎ「イノベーション」を起こす舞台に

うめきたプロジェクト(大阪市北区)



25 URのまち あのまち・このまち・歩いてみよう! その⑩

聖蹟桜ヶ丘駅周辺(東京都摩摩市)

27 復興の「今」を見に来て! ⑩

まちの将来に希望を託して! 新門脇地区で竣工式典開催 宮城県石巻市

みんなが集まれる新しい「まちの中心」が始動 岩手県陸前高田市

31 ベランダで楽しむ 四季の寄せ植え⑥ 黒田健太郎

丈夫でかわいい多肉植物を寄せ植えて楽しむ



32 防災グッズの新常識⑥ 高荷智也

マザーズバッグと先取り日常備蓄で、無理をしない防災を

32 男子弁当のススメ! ⑩ 相田幸二 牛タン弁当

33 プレゼント付きクロスワードパズル

34 UR INFORMATION

季刊「UR PRESS」Vol.55

2018年10月31日発行

発行 独立行政法人都市再生機構

〒231-8315 神奈川県横浜市中区本町6-50-1 横浜アイランドタワー Tel 045-650-0882 Fax 045-650-0889

制作 新潮社、編集室りっか

デザイン 太田デザイン事務所

印刷 大日本印刷

※本誌掲載の記事、写真、イラスト等の無断転載を禁じます。

※本文中の肩書きは取材時のものです。

表紙の世界

防災用品、最近はとても優れているものがたくさんありますね。ただ、悩みの種なのが、収納場所。しまい込むとつい、保存期間が過ぎてしまいます。ベッドやソファ下など、取り出しやすい場所をうまく使えたらよさそうですね。

イラストレーション 小林マキ



るとき急に、ひょんひょんとタワーにのぼってすっぱりハンモックにおさまる。「あ、秋だ」と、それを見ていると思う。この、猫による秋感知は、私のそれよりも、もう少し実際の秋に近い。
走りやすくなっても、猫がハンモックに入っても、しかしどこか、東京の町はまだ残暑っぽい。秋はまだかまだかと思っていると、急降下して冬になる。「あ、今日からもう冬だ」と走りながら私は思い、猫は眠るときにかならずベッドにやってくるようになる。秋の味覚もまだ食べ尽くしていないのに。読書三昧を楽しんでもいいのに。あたらしいスポーツを試してもいいのに。

走

猫

も、独自の季節感知センサーを持っているのだろう。我が家には天井まで届くキャットタワーがあり、そのいちばん上には、猫がちょうど体を丸めて入れるほどのハンモックがある。このハンモックはもこもこした生地できているので、夏のあいだは、猫はここには入らない。一度も、一瞬たりとも入らない。しかし九月になるとあ

かくた・みつよ

作家。1967年、神奈川県生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。1990年「幸福な遊戯」で海燕新人文芸賞を受賞しデビュー。「対岸の彼女」(文藝春秋)での直木賞をはじめ著書・受賞多数。最新刊は『源氏物語 中』(訳・河出書房新社)。



角田光代

暮らしのカケラ

6

ちいさい秋ならぬ、短い秋

こ

の数年、秋が足りない、と私は思っている。残暑がいつまでも続き、暑さにうんざりするころ、急激に涼しくなると、ようやく秋か、と思う間もなく、寒くなってくる。はたして秋はあったのか、と首をかしげたくなるくらいの短さ。

け

秋には枕詞がいっぱいある。食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋。食を楽しむ暇も、読書に浸る暇も、スポーツをはじめとみるかと決意する暇もなく、このごろの秋は去ってしまふ。ほんの少し前までは、もう少し秋の訪れは早く、訪れの知らせもはつきりしていたように思う。雲のかたちや風の感じが、ゆるやかに、しかし劇的に変わって、「夏も終わりだなあ」と思わせた。それから、魚屋さんの店頭に並ぶ秋刀魚や、八百屋さんの栗や梨。コンビニエンスストアでも、おでんや中華まんが売られはじめる。

最近では、私は自分の季節感知センサーに頼っている。毎週末ランニングをしているのだが、一年じゅう、ほぼ同じ早朝の時間帯に走っていると、季節が変わったことが肌ではつきりとわかるのだ。あ、今日から秋だ。今日から冬だ。そんなふうには明確にわかる。たとえば今年だったら、九月八日に東京の空気は秋になり、走るのがぐんと楽になった。しかし日が高くなるにつれて気温も上がり、朝方感じた「秋」はどこにもなく、昼間は夏の続きみたいになる。私の秋感知と、実際の秋の訪れにはずいぶんの隔りがある。



photo・T.Tetsuya

経験を重ねるほどに

難しさが増す役者の仕事。 DIYで気分転換！ とよた真帆

さん 女優

女優として、また京友禅の絵師やDIY……と多方面で活躍中のとよた真帆さん。気さくでオープンな人柄もあって、交友関係は多岐にわたります。「DIY」も「人とのつながり」も、組み合わせによってどのような反応、変化が起こるのかが楽しみだと語ります。



続けることに魅力を感じるのです。古くなった洋服のボタンや片方なくしたピアスなども大切にあってあり、先日はためたボタンをアクリル樹脂でかためてテーブルを作りました。ペンキ塗りが大好きです。母

が昔、オランダのアートペイントに凝って、家中の家具を全部花柄に塗り替えたことがあり、私もそれを真似て自分の部屋の家具を塗り替えました。10代の後半でしたが、いま思うと、それがDIYの本格的な入口だったのかもしれない。モデルをして

た10代の頃から口ケであちこちに行く機会があり、国内外の古い町並みやアンティークの美しさに触れた経験が、DIYのアイデアに影響しているかもしれません。ロケの前後にプライベートで宿泊して、近隣の神社仏閣を見てまわるこ

母親の影響でDIY好きに

家にいるのが好きで、時間が許せば家で絵を描いたり、お料理やお洗濯、DIYをしたりして過ごしています。自分の好きな空間にいたいという思いが強く、インテリアに関心があるのもそのためです。

DIY歴は10代の頃からで、母の影響が大きいと思います。母は昭和ひと桁生まれで、東京大空襲により焼け出され、まったくものがない生活を経験しています。それだけに、もったい

京友禅の技法で描いたガラス皿。



ない精神がベースにあって、ひとつのものを大切に使い、リメイクするのがすごく上手なのです。段ボール

箱に千代紙を貼ってかわいい小物入れにするような母の様子を幼い頃から見て育ったので、私も家にあるものを工夫して、いろいろなパターンに作り変えて楽しんでいます。たとえば李朝時代の観音開き



時間があれば手を動かしたいという真帆さん。使わなくなったボタンを生かして作ったコーヒーテーブル。

の家具をもっていますが、最初はタオル入れにして、次はCDラックに。そして最近、扉を外して今年家族を迎えた保護犬のケージにしています。私のDIYは、古いもののリメイクが中心。何通りにも変化させて使



とよた・まほ
1967年、東京都生まれ。
学習院女子高等学校中にモデルデビューし、
86年にアニエスBのモデルとしてパリコレクション等に出演。
その後、女優に転向し、ドラマや映画、舞台等に出演。
DIYをはじめ料理や石集めなど多彩な趣味をもち、
インテリアや料理関連の著書もある。
2018年秋公開の映画『覚悟はいいかそこの女子。』のほか、
Eテレ「趣味どきっ!」おとなの歩き旅秋、
テレビ朝日「相棒season17」などに出演。

いので、ちょっとびっくりして
います。

趣味の時間が 仕事の大切な息抜きに

も多いです。私は京友禅の絵師
もしていますが、習ったことは
ないのに着物の絵が自然に描け
るのは、京都でよく仏像や襖絵
などを見ていたことが生きてい
るのかもと思います。
ブログでDIYの作品を紹介
していた縁で、インテリア雑誌
の取材や、最近はテレビのお仕
事も増えてきました。今年は
「JAPAN Handmade of THE
YEAR 2018」という賞までい
ただいて。自分のなかでは何か
を作ることが特別なことではな

22歳のときから女優を続けて
いますが、改めて、すごく難し
いなと思いました。若い頃は経
験も知識もないので、あまり考
えないで演じられました。でも、
経験を積むと同時にいるんな引
き出しや技術が増え、また演技
が幾通りもあると思えて、悩む
ようになりました。ドラマ『相

棒』（テレビ朝日）の撮影でも、
台本に書かれていない部分をど
うやって埋めるのかを悩みまし
た。その役を興行きあるものに
するために、演じる人物の苦悩
や背景を考えて、見る人に納得
していただけるように役を作っ
ていくのが難しくて。

舞台も大好きですが、いざお
仕事が決まって台本をもらった
瞬間に、すごいプレッシャーを
感じるのです。なぜ引き受けた
のだろう、またあのつらい日々
が始まるって（笑）。台本を全
部頭に叩き込んで稽古初日から
本番のつもりで取り組みますが、
体調もお芝居もコントロールが
必要です。

苦しみながらも、演じること
はやっぱ楽しい。そのバラ
スが役者という仕事の醍醐味な
のかもしみません。役者の仕事
は点数がつくわけではないし、

正解がない。それが面白い部分
でもあります。いまだに「がむ
しゃら感」が抜けなくて、毎回
オーディションみたいな気持ち
ですが、その緊張感がなくなっ
たらダメなのかなとも思います
し、私はこれしかできないので、
お芝居をしている瞬間の楽しさ
を糧に演じ続けています。
仕事でプレッシャーが大きい
分、DIYなどの趣味は大切な
息抜きになっています。台本に
集中していると煮詰まってしま
うので、帽子のリボンを変えて
みようととか、シャツのボタンを
つけ変えてみようととか。そうや
って気分転換することで、仕事
とのバランスがとれているのだ
と思います。

「DIY」も「人」も 醍醐味は「組み合わせ」

友人との時間も大切にしてい
ます。小学校時代からの仲間も
いれば、美術学校やモデル時代
の友人、芸能界や裏方の方、O
Lからサラリーマンまで、性別
も年齢も職業もさまざまな人と
仲良くしています。友達が多い
理由をときどき聞かれますが、

いつも自分の気持ちをオープン
にして、壁をつくらないこと
でしょうか。

そしてパーティーなどでは、
私、大忙しです（笑）。この人
とこの人がつながったら面白い
だろうとか、このふたりは気が
合うだろうと思う人同士を紹介
して。そうやって人と人をつな
げるのが好きなのです。いま
気づきましたが、組み合わせに
よって起こる化学反応が楽し
みなのです。人と。人間関係
もDIYも、組み合わせ次第で
考えてもみなかったような反応
が起きるから。

団地で学んだ コミュニケーション

ご近所の方とのコミュニケー
ションも大切に行っています。普
段からごあいさつしたり、ジャ
ガイモを1箱もらったときなど、
小さな袋に入れてご近所におす
そ分けすることも。日頃からそ
うやってきつかけをつくってお
くと、困ったときもお互いに声
をかけやすいと思いますし、い
ざというときに助け合えるので
はないでしょうか。最近では自然
災害が多いですが、備蓄する食
品やお水なども、家族の分にプ

ラスして少しおすそ分けできる
くらいの量をストックするよう
にしています。

振り返ってみると、人とのコ
ミュニケーションの原点は、小
学生の頃にあるのかもしれない
せん。小さい頃に住んでいた家の
前に大きな団地があって、よく
遊びに行っていました。私は小
学校が違ったのですが、子ども
なりに考えて人間関係を勉強し
て、いろいろなグループの子と
仲良くしていました。いろんな
世界の方と仲良くするのが好き
なのは、大人になっただけでも
変わりません。

簡単にできるDIYを提案す
るとしたら……貼ってはがせる
壁紙でしょうか。室内の壁のひ
とつの面に色無地の壁紙を張る
だけでも、印象が変わりますし、
気分転換になります。家具を好
きな色に塗るのもいいですね。
もし私の手がけるとしたら、メ
ンズ向けにロフトのようなコー
ナーを作ってみたり、ファミリ
ー向けにグリーンを多くしたり、
女子っぽくパブリッシュみたいな
な部屋にしてみたり、場所や住
む方を考えながらアイデアはい
ろいろ出てきます。機会があつ
たら、ぜひチャレンジしてみたい
ですね！



「UR PRESS」オンライ
ン版で、パソコンやスマ
ートフォンからとよた真帆
さんのインタビュー動画
がご覧いただけます。
(2019年1月末まで)



WEB UR PRESS

特集

まちを 守る 暮らしを 守る

URの防災への
取り組み

立て続けに日本列島を襲う
大地震やスーパー台風、大雨による洪水に土砂崩れ……。
私たちはいつでも、誰もが、自然災害の被災者になりうる、
これまでの常識が通用しない時代に生きています。
URでは阪神・淡路大震災、東日本大震災などの
復興支援で得た経験を今後の安全に生かそうと、
地方公共団体とともにさまざまな防災への取り組みを行っています。
この特集では、そのなかから、防災公園の整備、密集市街地の整備と、
事前防災の取り組みについて紹介します。



公園の周囲には健康遊具を設置、近所の人に利用されている。



たくさんの人でにぎわう「いばらき×立命館DAY」。市と大学が共催したイベントで、飲食のブースやパフォーマンスなどさまざまな企画を実施。正面の建物が「フューチャープラザ」。



右側が「フューチャープラザ」。1階にはカフェとレストランも入っている。



公園と大学をつなぐ遊歩道は、災害時には物資の荷ほきスペースとなる。



周囲から1mほど盛土をした公園部分。段差のない平坦な芝生広場には6600人が避難できる。



イベントでにぎわう岩倉公園。正面は立命館大学の建物。

大学キャンパスと一体になった美しい防災公園が誕生

岩倉公園 大阪府茨木市

URはこれまでおもに関東・関西地方を中心に、26の防災公園を手がけてきた。大阪には大学キャンパスと一体となった新しいかたちの防災公園がある。

阪神・淡路大震災から生まれた防災公園

地震の揺れで建物や高速道路が倒壊しただけでなく、大規模な火災が起こり、6500名近い犠牲者を生んだ阪神・淡路大震災。1995（平成7）年1月17日に発生したこの大地震の経験を教訓に、地震の火災から逃れる場所を確保し、大都市地域の防災機能を高める目的で生まれたのが防災公園だ。

防災公園とは、文字通り防災機能をもった公園のこと。普段は市民の憩いの場として利用するが、災害が起こったときには市民がここに逃げ込み、3日間過ごすことができる一時避難場所としての機能を備えている。

これまでも学校の校庭やグラウンド、既存の公園などが一時避難場所に指定されているが、1人につき2平方メートルの避難地が必要という政府の指針に照らし合

せると、大都市の住宅密集地では避難場所が不足しているのが現状。そこで、工場や公共施設の移転などで大都市圏に大規模な空き地が生まれたとき、地方公共団体から要請を受けてURがその土地を機動的に取得し、周辺の市街地部分もあわせて防災公園を整備する。これがURが進める防災公園街区整備事業だ。

2004年4月に開園した千葉県市川市の大洲防災公園を皮切りに、現在進行中のもも含め、URではこれまで26の防災公園街区整備事業を手がけている。それぞれの防災公園は、その地域の要請に合わせたかたちで多彩につくられている。なかでも今回ご紹介する大阪府茨木市の岩倉公園は、大学とコラボして生まれた一体感のある空間が目ざされている。さっそく現地に出かけてみよう。

キャンパスとの境がない一体的な空間

広々とした明るい芝生のキャンパスのあちこちで、学生たちがおしゃべりしている。なかには外国からの留学生たちの姿もある。

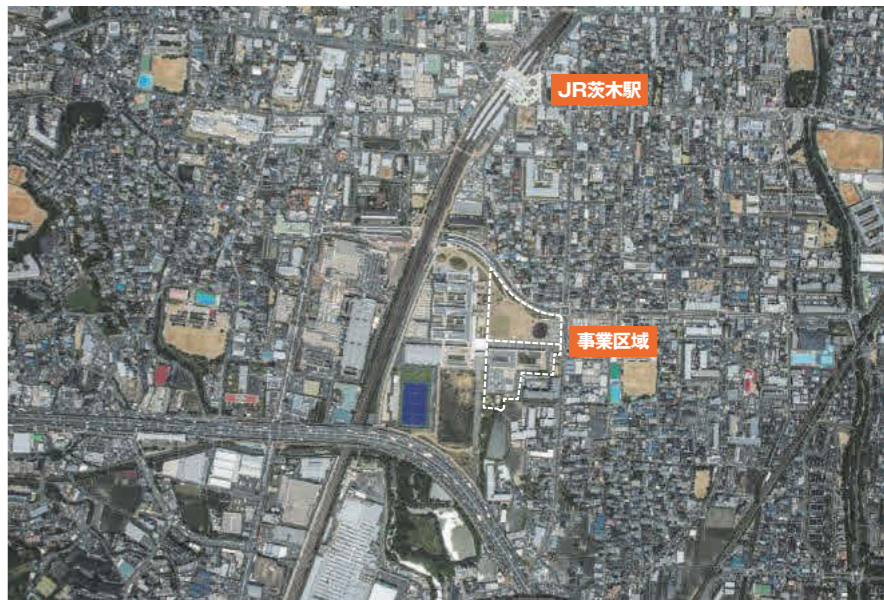
公園の外周に置かれた健康遊具を利用するのは、ご近所の方だろうか。落ち着いた色に塗られた遊具のエリアには、子どもたちの歓声や笑い声が響いている。見守るお母さんたちも、どこかつるいだ表情だ。

JR茨木駅から徒歩5分。線路と住宅街の間に広がる岩倉公園は、サッポロビールの工場跡地に2015年3月に完成した。この一番の特徴は、立命館大学のキャンパスと一体化した公園だという点。その広々としたオープンな雰囲気は、どこか日本離れしていて、欧米の大学キャンパスのような印象を受ける。

グッドデザイン賞を受賞した大学建物と芝生広場、遊具のある公園部分に境となるものはない。同じデザインの遊歩道がぐるりとめぐらされ、どこからが大学でどこからが公園なのか、一見しただけではわからないのだ。大学の建物近くに、「この先は大学キャンパスです」と書かれた小さな掲示板があるだけだ。



遊具の色も大学側と共同で計画した。



上空から見た岩倉公園とその周辺。



これまで線路を挟んで反対側とをつなぐ道が少なく不便だったが、新たに市道が完成。避難の際にも安心だ。



JR茨木駅から住宅街を通らず、直接大学に来られるよう、線路沿いに新たに遊歩道がつけられた。

岩倉公園の防災機能

住宅地から避難しやすい場所に公園部分を設け、最大6600人の避難者が座れる平坦な芝生広場を整備。公園の周囲には、延焼を防ぐ防火林が植えられている。線路をくぐるアンダーパスも整備され、線路の反対側との通行も便利になった。



非常用トイレ

非常用トイレ

駐輪場のマンホールは下の污水管に直接流せるようになっていて、災害時にはトイレとなる。全部で21穴設置。



かまどベンチ

普段はベンチだが、災害時は上部をはずし、脚部をかまどとして利用できる。

雨水貯留槽

公園内に降った雨水を溜め、平常時は樹木の散水用に利用。災害時は消火用水として利用する。

ハイブリッド照明

風力と太陽光を利用したハイブリッド照明を3基設置。停電時にも灯りを提供する。



あずまやとパーゴラ(日除け)

災害時にはここにテントを張り、救護施設などに利用する。

大阪北部地震発生!

古曽部防災公園に仮設風呂が設置された

6月18日の朝7時58分ごろ、大阪府北部を震源としたマグニチュード6.1の「大阪北部地震」が発生した。震源地に近い大阪府北区、高槻市、枚方市などは震度6弱を観測した。

このとき高槻市にある古曽部防災公園は、ブルーシート

などの救護物資の配布基地として機能。また、この地震で水道やガスのライフラインが一時ストップしたため、6月21日から自衛隊が公園内に仮設風呂を設置。多くの市民が久しぶりの入浴を楽しんだ。古曽部防災公園は厚生施設跡地を利用してURが整備し

た約4.5ヘクタールの公園で、多目的広場には大型遊具や健康遊具、体育館や軟式野球場も備え、普段から市民に広く利用されている。同時にここは、大地震などの災害発生時に周辺地域の人々の避難地になるとともに、救護物資を受け入れ、供給を行う、総合的な物流機能を備えた防災拠点でもある。今回の地震で、そのスペースと機能をいかに活用したか。



ガスの供給が再開するまでの間、公園に自衛隊が仮設風呂を設置(写真提供:陸上自衛隊中部方面隊)。



救護物資の配布が行われ、屋根の雨漏りを防ぐブルーシートが配られた(写真提供:朝日新聞)。



2010年に開園した古曽部防災公園は、運動公園としても普段から広く市民に利用されている。

災害発生時には物資の提供も

工場が操業を停止したのは08年約12ヘクタールある跡地をどう活用するかは、地元茨木市の課題となっていた。周辺一帯は昔からの住宅地が広がり空き地がなく、防災上の課題がある。それまでも茨木市のお付き合いがあったURは、防災公園という手法を提案した。

一方で、立命館大学は京都市の衣笠、滋賀県の草津に続く3つ目のキャンパス候補地を探しており、そのひとつとしてこの

URでこの事業を担当した中山哲也が、こう当時を振り返る。

大規模災害が発生した際には、大学側とも連携、さらに線路を挟んだ反対側に建つイオン茨木ショッピングセンターを運営するイオンリテールとも災害時の物資提供の協定を結んでいる。

「公園内には非常用トイレや防災倉庫などの機能を設けています。また、災害時には茨木市と立命館大学、商業施設の三者間で相互連携協力の協定が結ばれており、非常用電源設備による電力の融通の取り組みなどが計画されています」



URで岩倉公園を担当した中山哲也(左)と、現担当の南谷 敬(右)。

とURの南谷 敬が言う。

防災公園は、普段から市民に公園を利用してもらい、ここが防災公園であり、いざというときにはここに避難できることを広く知ってもらうことが大切だ。その点、大学側は市と共催で「いばらき×立命館DAY」を開催したり、防災運動会などを開き、ふだんから公園のにぎわいづくりに尽力。大学と市が連携して公園の認知度を高める企画を進めている。幸いなことに、公園が完成してから、この防災機能がフルに活用されたことはない。だが、いつ起こるか分からない災害への備えは充分にできている。



桜の名所として市民から愛されている。

災害時は復旧拠点になる備蓄倉庫(下左写真)と、災害用マンホールトイレ(下右)。



多世代が集う桜の名所

桜の森公園

鈴鹿市南玉垣・白子

三重県鈴鹿市 2015年2月開園/約7.3ha

鈴鹿市からの要請を受けて、NTTの研修施設の跡地に整備した「桜の森公園」。公募で選ばれた「桜の森」の名前の通り、園内には120本ものソメイヨシノが既存樹として残され、春には桜の名所としてにぎわいを見せる。

災害時の一時的な避難地や救援活動の拠点として利用できるようになっている一方で、この公園は子ども、学生、高齢者、障がいのある人など幅広い利用者が気軽に楽しめる施設となっている。特に「ちびっこ広場」は、エリア全体がフェンスで囲まれ、安心して幼児を遊ばせられると好評だ。また、野球場やウォーキングコース、健康器具も設置され、健康を意識した施設になっている。同時に、戦時中にこの地にあった海軍施設の一部を公園に移築し、鈴鹿市の歴史にふれることのできるスポットもある。

大学跡地を公園と住宅に

西ヶ原みんなの公園

北区西ヶ原四丁目

東京都北区 2010年4月開園/約2.2ha

都電荒川線「西ヶ原四丁目」駅から徒歩約6分。住宅街の中に、広々とした憩いの空間が出現した。

東京外国語大学の移転ともなって生まれた跡地利用に際して、URは北区の跡地利用連絡協議会に事務局として参加して跡地利用の策定を支援。密集市街地に必要な防災公園を整備するとともに、周辺の狭い道路を拡幅して、より安全で災害に強いまちづくりを進めた。同時に、跡地の一部に高齢者福祉施設とファミリー向け賃貸住宅を誘致した。

こうして生まれた公園は、大きな芝生広場を中心に、じゃぶじゃぶ池やピオトープ、複合遊具が設置され、安心して子どもを遊ばせられると家族連れに人気だ。園内には災害時に対策本部となる防災拠点を設置できるスペースが確保されている。



防災公園の整備だけでなく、周辺道路の拡幅整備も行った。



城下町を火災から守る

内田防災公園

犬山城下町

愛知県犬山市 2018年3月開園/約2.1ha

室町時代に築かれた国宝犬山城。この城下町一帯には木造の建物が多く、火災が発生した際の避難スペースが足りないため、安全上の課題を抱えていた。また、犬山城を訪れる観光客用の駐車場も不足。そこで犬山市はここにあった旧名古屋証券総合運動場を防災公園にしたいとURに要請した。

URは約4ヘクタールの土地を取得し、防災公園を整備。観光駐車場、多目的広場、道路、消防署北出張所を市が整備した。内田防災公園は今年の3月にオープン。備蓄倉庫は犬山城下町の歴史的なまちなみの景観に配慮したデザインだ。公園が完成する直前の2月には、この公園をスタート・ゴールにしたハーフマラソン大会も開かれた。



約9000人が出場した読売犬山ハーフマラソン大会。

犬山城を望む場所に広がる内田防災公園。



URが手がけた防災公園

地震の火災から逃れる場所となり、大都市地域の防災機能を高める防災公園。

URがこれまで整備を手がけた

26の防災公園から、

4つの公園を紹介する。

震災の経験と教訓を、後世に伝える

みなとのもり公園

(神戸震災復興記念公園)

神戸市浜辺通

神戸市中央区 2010年1月開園/約5.6ha

1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災で被災した神戸市が、その経験や教訓を後世に継承する場所として計画。神戸市とURが事業主体となって完成させた「神戸震災復興記念公園」(愛称・みなとのもり公園)は、かつてJR貨物神戸港駅があった土地、約5.6ヘクタールに広がっている。

この公園は計画段階から市民が積極的に参加、市民と行政が一体になって整備・検討が進められた。震災のときに世界から寄せられた応援が復興の後押しとなったことを後世に伝えていこうという思いが、公園づくりの根底にある。

また、インラインスケートやバイクポロといった若者に人気のストリート系スポーツができる「ニュースポーツ広場」が、公園内にあるのも大きな特徴だ。ここにやってくる若者たちにも、公園の管理や運営に関わってもらいながら、市民一体となって防災意識を高めている。



都道府県	地区名	公園名
東京都	杉並区桃井三丁目	桃井原つば公園
	豊島区上池袋一丁目東	上池袋東公園
	北区西ヶ原四丁目	西ヶ原みんなの公園
	三鷹市民センター周辺	三鷹中央防災公園
	豊島区造幣局*	(整備中)
埼玉県	さいたま市北袋町一丁目*	(整備中)
千葉県	市川市大洲一丁目	大洲防災公園
	柏市中原一丁目	中原ふれあい防災公園
	千葉市蘇我臨海*	千葉市蘇我スポーツ公園
神奈川県	鎌倉市岩瀬下関	岩瀬下関防災公園
	横浜市鶴見一丁目*	(整備中)
愛知県	犬山城下町	内田防災公園
大阪府	枚方市北片鉾町	車塚公園
	堺市鳳南町三丁目	鳳公園
	高槻市古曽部町3丁目	古曽部防災公園
	茨木市城の前町	西河原公園
	八尾市南木の本三丁目	八尾市立南木の本防災公園
	摂津市千里丘四丁目	明和池公園
	茨木市岩倉町	岩倉公園
	高槻市八丁畷*	(整備中)
大阪市北区大深町(うめきた2期)*	(整備中)	
三重県	鈴鹿市南玉垣・白子	桜の森公園
兵庫県	宝塚市末広町	末広中央公園
	神戸市浜辺通	神戸震災復興記念公園
	伊丹市車塚一丁目	笹原公園
福岡県	福岡市城内*	(整備中)

※平成30年10月時点で事業継続中



芝生広場を中心に広がるみなとのもり公園。左手の高速道路の下部部分が、ニュースポーツ広場。



ストリート系スポーツを楽しめる貴重な公園として人気がある。



防災道路を拡幅(約3m→6.7m)し、アースカラーに変更。上は拡幅前、下は拡幅整備後。

電器産業のまちを 美しい景観のまちに変える

門真市本町地区

大阪府門真市

これまでの問題点

1960年代に電器産業拠点として発展した門真市北西部地域。急激な人口増加は、密集した老朽木造住宅や消防車が入れない狭い道路を生み、防災上の課題を抱えていた。また、市営住宅や市場跡地などの未利用市有地があり、これらを活用した防災道路の拡幅と建物の不燃化が急務だった。

URの取り組み

2008年、URは門真市とともに防災に配慮した市街地の整備検討をスタート。市の住宅市街地総合整備事業と連携して防災街区整備事業を行い、防災道路の拡幅整備や耐火建築物である5階建ての共同住宅(34戸)の整備、戸建て住宅街の整備により、防災性の向上と良好な居住環境づくりに寄与した。

また、この事業で整備した道路やマンション、戸建て住宅街区はアースカラーにするなど景観統一を進め、まち全体のバリューアップも図っている。

URは今日も密集市街地の解消にコツコツと挑み続けている。

戦火を逃れた歴史あるまちを 災害に強いまちに変える

京島三丁目地区

東京都墨田区

これまでの問題点

関東大震災や戦災を逃れたことで、古い木造住宅や長屋形式の住まいが密集している墨田区京島地区。昔ながらの下町の人情が色濃く残る一方で、道路が狭く、地震発生時には建物の倒壊や延焼の危険が高く、防災面に大きな課題を抱えていた。だが権利関係が複雑で、老朽化した建物の建て替えや不燃化、道路の拡幅といった事業がなかなか進まなかった。

URの取り組み

URは2001年に墨田区と市街地整備に関する協定を結び、「防災街区整備事業」の手法で改善に取り組んだ。

住民との丁寧な話し合いを重ね、耐火建築物である5階建ての共同住宅(35戸)や戸建て住宅用地を整備。共同住宅には二方向の避難路を確保、防災倉庫や雨水貯留槽を設けた。また、道路を拡幅して消防車が入れるようにし、災害に強いまちづくりを行った。共同住宅の足元や敷地内を緑化し、風の通り道を確保するなど、居住環境の向上も図っている。

右/年月を重ねた木造住宅は権利関係が複雑で、しかも高齢者が多く、自己建て替えが困難な状況だった。



下/URが整備した防災施設を備えた共同住宅。



を確保するなど、権利者との合意形成が図れるよう工夫している。URは計画立案から地元の人々との話し合いに参加、勉強会の開催などを手伝いながら、地域の人々の理解の上で事業が進むよう努力している。事業を進めるうえでは、これまでに蓄積されたURのノウハウや、民間事業者とは異なるURの公平中立な立場が地域の人々の信頼を得て、事業を円滑に進める潤滑油になる。「まちづくりに使ってほしい」と快く土地を提供してくれるケースもあると聞く。



東京都荒川区荒川二・四・七丁目で行っている密集市街地整備事業で、URが整備した従前居住者用の賃貸住宅「コンフォール町屋」。

密集市街地を、安全で 魅力あるまちに変える

密集市街地の整備

木造家屋が密集した地域は、防災面の脆弱さが課題だ。大地震などで火の手が上がると延焼の危険性が高く、狭い道路は迅速な避難を阻む。URは地方公共団体とともに各地で密集市街地の整備改善に取り組んでいる。

培ってきた事業の ノウハウを駆使して 密集市街地解消に挑む

国は全国にある密集市街地のうち、特に危険な密集市街地(全国で約6000ヘクタール)を「地震時等に著しく危険な密集市街地」として位置づけ、2020年度までに概ね解消する目標を定めている。著しく危険な密集市街地とは、地震などで大規模な火災が発生する可能性が高く、かつ避難が困難なエリアで、東京都や大阪府に多く分布している。

URは昭和50年代から密集市街地の整備に取り組んできたが、1995(平成7)年の阪神・淡路大震災で密集市街地を襲った大規模火災が、ひとつの大きな潮目になったと担当者はいう。それ以降、URでは密集市街地整備の専門部署を新設し、一日も早い密集市街地解消のために本格的な取り組みを開始した。

密集市街地整備事業とは、震災などによる被害を軽減するため、①住民の避難路や緊急車両の進入路として機能する道路を整備 ②住民の避難場所や延焼防止の緩衝

帯として機能する公園・広場を整備 ③老朽木造建物を除却、建て替えを促進し燃えにくくする。以上が大きな柱だ。URではまちづくりの主体となる地方公共団体と連携・役割分担しながら、計画立案から地域住民との合意形成支援、事業実施まで、幅広く密集市街地整備のお手伝いを担っている。

まちづくりの課題に応じて事業手法もさまざま。例えば避難経路を確保するために道路を拡幅する場合、立ち退きを余儀なくされる方には、これまでの生活圏にも配慮した移転先が確保できなければ事業に協力を得ることは難しい。そこで、密集市街地の中でURが土地を取得し代替地として提供したり、受け皿となる住宅(従前居住者賃貸住宅)を建設するなど、生活再建方策と組み合わせながら事業を進めている。

また、密集市街地の土地は面積が小さく、道路用地を買収すると、残った土地は狭くて宅地として利用しにくい場合もある。そこで、URは土地を再配置する手法(土地地区画整理事業)を活用し、宅地の利用価値を保ちながら道路用地

ノウハウを活かし、事前防災を支援

事前防災の取り組み

事前防災とは、読んで字のごとく、想定される災害の被害を最小限に抑えるため、事前に対策を講じること。今後、巨大地震の発生が懸念されている自治体では、事前防災への取り組みを進めている。URはこれまでの災害復興などで蓄積されたノウハウを活かすべく、自治体の事前防災の支援に取り組み始めた。



和歌山県海南市で防災拠点整備を支援

和歌山県の和歌浦湾に面した海南市。晴れた日には淡路島や四国を望むこのまちも、南海トラフ巨大地震が発生した場合、沿岸部をはじめ中心市街地エリアでは、津波による浸水被害や多くの家屋倒壊等が想定され、こうした大規模災害に備えるため、防災関係機関の活動拠点や仮設住宅用地などの事前防災が急務となっている。このような中、海南市では、IC隣接の総合体育館、高台移転した市役所に加え、市街地に近接する中央公園を防災公園として拡充整備することで、災害時に有効に機能する地域防災拠点を構築しようという取り組みを進めている。URでは市を支援し、防災関係

機関の活動拠点や応急仮設住宅用地に活用できる防災公園としての拡充整備だけでなく、既存の公園エリアも含めた公園全体の複合的な再整備を目標に、公園の優れたロケーションを活かした魅力と賑わい、集客力のある公園づくりを進めている。なお、国が行っている海岸保全施設整備事業で津波防波堤・水門の整備及び護岸の嵩上が2023年度の完成を目指して進められており、完成後は津波の浸水想定域の大幅な減少、浸水深の大幅な低下が見込まれることから、中心市街地エリアと拡充整備された公園を含むエリアが一体となって支えあう相乗効果によって、豊かな自然や伝統文化に恵まれたまちづくりの取り組みが今後更に高まりそう。

津波防災まちづくりの推進を支援 徳島県美波町と協定を締結

2018（平成30）年3月20日、徳島県美波町とURは、南海トラフ巨大地震に備えた津波防災まち

づくりを推進するための協力協定を結んだ。美波町は、徳島県南部に位置し、

アカウミガメの産卵地として有名な大浜海岸やリアス式の海岸が広がる風光明媚なまち。一方で、過去に大きな津波被害を度々受けており、町内には、正平南海地震津波（1361年）の犠牲者の供養碑で日本最古の地震津波碑といわ

れる「康暦の碑」が残っている。南海トラフを震源とする巨大地震が近い将来、高い確率で発生すると予測されるなか、美波町にはこの地震によって最大20メートルを超える津波が押し寄せると予想

されている。それを受けて美波町では、津波に強いまちづくりに向けたさまざまな取り組みを行って、その一環として公共公益施設の高台移転や、大災害時に必要となる避難

場所や防災拠点、応急仮設住宅利用などを想定した防災公園の整備が進められている。URはこれらへの技術的支援を行うとともに、津波防災まちづくりを進めるための具体的な方策を探っている。



今年3月に行われた締結式。写真左は美波町の影治信良町長、右はUR西日本支社長の西村志郎（当時）。

「ぼっさいこくたい2018」開催 一人ひとりが防災意識を高める

10月13日に行われた「ハイレベル・ディスカッション」(上)と、UR職員による「災害に強いまちづくり」をテーマにしたセッション(下)。

10月13、14日の2日間、わたり、東京ビッグサイト（東京都）を会場に「ぼっさいこくたい2018」が開催された。「ぼっさいこくたい」とは、家族連れから専門家まで幅広い

い方が防災を学ぶことができ、一人ひとりが防災の意識を高めることを目的としたイベントで、内閣府などの主催により今年で3回目の開催となる。今回、URも初めて参加した。

10月13日のオープニングセッションは、東京ビッグサイト国際会議場で行われ、冒頭に山本順三内閣府防災担当大臣から開会宣言がなされたのち、ファシリテーターとして東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター長・教授の田中淳氏が登壇。広域大規模災害では産官学が連携したオールジャパンでの対応が不可欠であり、そのために事前の段階から十分な連携・協働体制を構築しておくことの必要性を訴えた。

壇上では、地域が抱える災害のリスクについて共通理解をもつことの大切さや、平時から対話の機会を増やし地域の人々同士の信頼関係を築くこと、異なる分野や組織の間でつながりをもつことなど、みんなの連携の輪を強くするためになすべきことについて、活発な意見が交わされた。午後にはURの職員による「災害に強いまちづくり」と題したセッションを実施。これまでURが行ってきた復旧・復興支援の概要や事前防災の取り組みのほか、東日本大震災からの復興で被災自治体と連携した具体的事例について、女川町などを例にとり説明。URのこれまでの経験が、今後の防災・連携にどう活用できるのかを議論した。

これを受け、「みんなの連携の輪を地域で強くする」をテーマに、呉市長の新原芳明氏をはじめとするパネリストによる「ハイレベル・ディスカッション」が行われた。URからは副理事長の石渡廣一が登壇。URの震災復興支援事業、密集市街地整備事業の事例などを通じて考える連携の在り方について発表した。

また、大会の2日間、そなエリア（東京臨海広域防災公園）では、防災に関する展示や屋外イベントも行われ、たくさんの来場者でにぎわった。



「そなエリア」では、防災に関する屋外イベントも開催。





DANCHI PICKS **楽しい
団地**

中登美第3団地

奈良県奈良市

ゆるゆると仲間が集まり、夏祭り復活！

NAKATOMI-DAISAN



夏祭り会場に集まった中登美アンバサダーメンバーとUR担当者。前列右からアンバサダーの加来真紀さん、慎太郎さん、古財侑季さん、URの元担当者・大内将樹。後列右からアンバサダーの森川 孝さん、薫さん、徳永祐巳子さん、URの宮村嘉人、加藤 啓。



大いににぎわった今年の夏祭り。景品と交換できる射的やダーツ、輪投げは子どもたちに大人気。手作りのお店から地元で人気の飲食店までバラエティ豊かな出店があり、祭りの最後には盆踊りも行われた。



PICK UP

みんなの拠りどころ カフェと雑貨の店「アンティーム」

加来兄妹が営む「アンティーム」は、中登美団地の入り口にある。東日本大震災をきっかけに東京からこの団地に戻ってきた慎太郎さん。前後して真紀さんも団地に戻り、2011年9月にこの店を始めた。

「本当にいろんなお客さんが来てくれて」と話す2人。ここに来ると自然とお客さん同士も仲良くなり、いつの間にか団地内外から人が集まり、人の輪が生まれる店になっていた。

そんなお客さんとの出会いから、食の大切さに気付いた真紀さんがつくるのは、真ん丸い形の「お結びランチ」。「たくさん人の拠りどころになる店に」との思いで、人の縁を結んでいる。



2階はお客さんが主催するイベント会場に。

●アンティーム
奈良県奈良市中登美ヶ丘1-793-17 A17-101
☎0742-41-5541 ⑩10～18時 ⑫日曜



洋服やアクセサリ、陶器などかわいい雑貨が並ぶ店内。

真ん丸にごはんを結ぶ「お結び」と、地元の人気店の豆腐、体にやさしいおかずが並ぶ「お結びランチ」は1,230円。



夫婦でアンバサダーになった森川 孝

団地活性化の旗を振る アンバサダーたち

この夏祭り復活と前後して、URでは昨年、団地活性化に取り組む仲間「中登美アンバサダー」を団地内外から募った。現在メンバーは30〜40代を中心に9人。「アンバサダーの自主性を尊重しながら、URがサポートする体制です。アンバサダーの活動から、新しい人の輪も生まれつつあります」とURの担当・加藤 啓は期待を寄せる。

「昔は自分たちが祭りを楽しませてもらいました。今、自分が親になり、子どもたちに夏祭りがない寂しさを味わわせてはいけないなと思ったんです」と真紀さんも言う。

ふたりは中登美団地の一角で「アンティーム」というカフェを営んでいる。そこに来るお客さんや仲間たちに「夏祭り、やらない？」と声をかけ、昨年、夏祭り復活に取り組んだ。

「祭りのわずか1カ月前のスタートだったのですが、みんな、祭り復活」を望んでいたんですね。声をかけると協力者の輪がどんどん広がり、「子どもたちが喜ぶよ。兄ちゃん頑張ってるな」と声をかけてくれる人もいました」と慎太郎さんは振り返る。

こうして昨年の夏祭りは、自治会を離れ、加来兄妹と仲間たちが中心になって無事に開催。団地内外から予想を上回る人出があり、「各店が用意した飲食物が、夜の8時にはほぼ振り返る。

さん、薫さんはこの団地に住んで4年。活動を通して、「1人暮らしの高齢者が、少しでも外に出てきて、コミュニケーションが取れたらいいな」という思いを抱いている。

アンバサダーたちの活動は、昨年の夏祭りを手始めに、新年のもちつき大会、春のフリーマーケット、そして今夏の祭り開催と続いている。

「私たちは、ここに来たら何かあると皆さんに思ってもらえる『場』を、みんなで作っているんです。高齢の方も若い人も、ここで出会い、コミュニケーションが広がる場をつくりたい」

ゆるゆると楽しく、ときに真剣に。加来さん兄妹を中心に、中登美団地の新しい輪は確実に広がっている。



兄の慎太郎さんは東京でデザインの仕事、妹の真紀さんは神戸のホテルで飲食の仕事をしていた。現在、2人とも「アンティーム」をベースに、団地で暮らしている。

「僕たちが住んでいた頃の団地は、子どもが多くてにぎやかで、夏祭りもそれは楽しみでした。祭りの日は、好きな子に会えると胸がキュンとなった思い出もあります」と慎太郎さん。

それまで自治会主催で開かれてきた夏祭りが、メンバーの高齢化などの理由で中止になったのは3年前。高校卒業まで約7年間この団地に住んでいた加来さん兄妹は、「来年も祭りは行わない」と聞き、それなら自分たちでやってみようかと軽い気持ちで考えた。

「祭りのおかげで、みんな、祭り復活」を望んでいたんですね。声をかけると協力者の輪がどんどん広がり、「子どもたちが喜ぶよ。兄ちゃん頑張ってるな」と声をかけてくれる人もいました」と慎太郎さんは振り返る。

こうして昨年の夏祭りは、自治会を離れ、加来兄妹と仲間たちが中心になって無事に開催。団地内外から予想を上回る人出があり、「各店が用意した飲食物が、夜の8時にはほぼ振り返る。



武田ちよこ=文、菅野健児=撮影





DANCHI PICKS **楽しい団地**

洋光台団地

横浜市磯子区

まちの交流拠点となる中央広場が完成



中央広場オープニングセレモニーで、テープカットにのぞむ関係者。左から、横浜市技監兼建築局長の坂和伸賢さん、洋光台まちづくり協議会会長の三上勇夫さん、UR理事長の中島正弘、隈研吾さん、佐藤可士和さん。

8月1日。真夏の日が射し込む洋光台団地では、団地に住む皆さんとともに、中央広場の大規模改修完成を祝う式典が行われていた。

改修された広場は、2層になったデッキでアーケードがつながれ、アーケードをおおう2階の屋根は、山並みのように連なっている。軽やかで開放的な回遊空間は、歩くのが楽しくなりそうだ。広場中央の大階段を上がると、2階デッキから広場を一望することもできる。

また、広場の床の色はやわらかなものになり、所々に昔ながらの縁台を思わせる木製の「ダンチファアーニチャー」が置かれた。

「地域に開かれ、まわりとつながる広場を目指しました。爽やかな広場になったと思います」と改修を担当した建築家の隈研吾さんは言う。

団地の未来プロジェクトで新しい可能性を探る

横浜市磯子区に1970（昭和45）年に誕生した洋光台団地。JR洋光台駅を中心に、洋光台中央、洋光台北、洋光台

西の3団地がつくられ、約1万8000世帯が住む大規模なまちが広がっている。横浜まで電車で約20分と交通の便が良く、今も人気のある団地だが、少子高齢化の波には抗えず、商店街にもかつてのようになにげわいはなくなってきた。

この洋光台団地の再生と活性化を図ろうと、URは2011年に「ルネッサンスin洋光台」をスタート。隈研吾さん、クリエティブディレクターの佐藤可士和さんなど6名の有識者からなる「アドバイザー会議」と、地元関係者や行政との協議の場である「エリア会議」という2つのディスカッションの場を設け、まちの活性化に成果を上げてきた。

さらに15年には、隈さんをディレクターアーキテクト、佐藤さんをプロジェクトディレクターに迎え、「団地の未来プロジェクト」がスタート。各界の方々との意見交換しながら、団



広場のあちこちに置かれた木製の縁台「ダンチファアーニチャー」では、さっそく親子連れがくつろいでいた。

「団地の未来プロジェクト」のロゴを使った団地のサインツリー。



訪れる人、帰ってくる人をやさしく迎える中央広場。敷地の高低差を生かした2階デッキや、開放的で爽やかな縁側空間が特徴。

地の価値を上げていくためのプロジェクトを進めている。まず行われたのが住棟の外壁リニューアル。続いて今回の中央広場の改修にとりかかった。

中央広場は洋光台駅から団地に向かうと、最初に通る場所。いわば洋光台団地の顔で、団地に住む人だけでなく、周辺のまちの人々も駅への行き帰りに必ず通る場所だ。

この広場を含めた駅周辺の回遊性を高め、ここを団地だけでなく、周囲に広がるまちの核となる広場にしたい。地元「洋光台まちづくり協議会」の皆さんの意見も取り入れながら、そのアイデアを隈さんが具体化していったのだ。

新しくできた2階デッキに上がると、それまで住戸だった部分が店舗に改修され、デッキから出入りできるようになっていた。その一角には、それまで1階アーケードにあった「Cクラボ」が移転。「Cクラボ」は地域のコミュニティ活動スペースで、これまでも高い稼働率を誇り、団地内外から人々が集い、出会う場となっている。

さらに新しく2階デッキには、民間事業者にリーシングを委ねるかたちで「クラフトマルシェ」という工芸作家のショップや工房を誘致。ショップのオープンとあわせて11月24、25日には、中央広場で「洋光台クラフトマルシェ」も開かれ

この団地に住み、洋光台まちづくり協議会の会長を務める三上勇夫さんは、「夕方、広場の縁台で家族連れや若い人たちがくつろいでいるのを見て、うれしくなりました。この広場が洋光台の大きな交流拠点になるのでは」と期待を寄せる。URの山下 健も「新しい広場の開放的な雰囲気は、きっと若い人たちの共感を呼ぶと思います。それが、この団地に目を向けるきっかけになればうれしい」と話す。

「団地の未来プロジェクト」は今後も次々と仕掛けを展開予定。16年にアイデアコンペを行った「洋光台北集会所」の改修は、20年に完成予定だ。「団地には豊かな空間があり、人々が集まって住むことで生まれるパワーがあります。そういった団地のよさを最大化していくことが、団地の未来につながると思っています」

こう話す佐藤さんをはじめプロジェクトにかかわるメンバーには、その未来が見えていないのかもしれない。

団地の皆さんなどセレモニーに参加した人たち全員が、団地の未来プロジェクトオリジナルテープでテープカット。



団地マネージャーを務めるURの山下は、「このプロジェクトはこれからさまざまな動きが見えてきます。他の団地の参考になるような成功事例をつくりたい」と話す。



まちづくり協議会の三上会長は、団地在住47年。洋光台連合自治会の会長も兼務し、まちづくり活動に熱心に取り組んでいる。





1万人規模のイベントも可能となる、みどりあふれる2期区域の完成イメージ図。三菱地所を代表とするグループが開発を担当する。

中央の空間が「うめきた」2期区域。その右手奥に見えるのが「グランフロント大阪」。右端は大阪ステーションシティ（JR大阪駅）。



うめきたプロジェクトを担当するURの林 孝光。台風時には泊まり込みで現場確認に当たった。



2期区域完成後、家族で遊びに来るのを楽しみにしていると話す大阪市の國下大樹氏。



URのまちづくり
最前線9

「グランフロント大阪」側から望む「うめきた」2期区域。左側がJR大阪駅。

「うめきた」プロジェクト 大阪市北区 圧倒的な「みどり」で人々をつなぎ 「みどり」が舞台に 「インベーション」を起す舞台に

JR大阪駅北側の大規模開発「うめきたプロジェクト」。URはまちづくりのコーディネーターとして、このプロジェクトに計画段階から参加している。先行開発区域の「グランフロント大阪」のオープンから5年。この夏、2期区域の開発事業者が決定し、プロジェクトは新たなステージに突入した。

「グランフロント大阪」の北側は大きく変わった」
旧国鉄の梅田貨物駅だった、かつてのこの地を知る人々はそう口を揃える。「うめきた」の愛称でおなじみとなったこの駅前エリアの先行開発区域「グランフロント大阪」は、260を超えるショップをはじめオフィスやホテル、分譲マンションで構成される。2013（平成25）年のオープン以来、関西でも屈指の人気スポットとなり、平日でもいくつもの飲食店に順番待ちの列ができる。

「グランフロント大阪」の特徴は、500メートルに及ぶイチョウ並木やせせらぎの道、複数のガーデンなど豊かな植生が敷地内に配置されていること。加えて、起業支援や企業の育成に力を入れていて、研究機関や企業、クリエイターなどと来館者の交流施設「ナレッジキャピタル」を備え、頻繁にイベントを開催している

こと。ナレッジキャピタルを通じて事業規模を拡大し、国内外から注目される企業も誕生している。

都心の開発では異例の「みどり」が舞台に

期待が高まる残りの2期区域17ヘクタールも、先行開発区域の流れを継承し、さらに発展させる方針で、「みどり」と「インベーション」の融合拠点」をまちづくりの目標に掲げている。新産業創出機能を果たすインベーション支援機関や国際集客・交流の拠点となるコンベンション施設、オフィスやマンションなどもつくられる計画だ。なかでも話題を集めているのが、防災機能を備えた4・5ヘクタールに及ぶ都市公園をはじめ、植栽など「みどり」のスペースが8ヘクタールに及ぶこと。これは甲子園球場2つ分、「グランフロント大阪」の敷地（7ヘク

タール）を上回る広さだ。

都心ターミナル立地、商業エリアとしては異例のこの大胆な計画について、大阪市都市計画局企画振興部うめきた整備担当の國下大樹氏は説明する。

「圧倒的なみどりを配置してまちの象徴とし、ふだん出会わない人たちをつなぐ場にしたという思いがあります。子どもからお年寄りまで世代を超えて集えて、散歩やスポーツ、イベントが楽しめる。企業が試作品をこの地に集まる人たちに使ってもらい、その結果をさらなる開発に活かすような仕組みも検討しています」
憩いの場であるだけでなく、情報の発信や共有、マーケティングの場ともなり、分野を超えたインベーションを起こす拠点となることを目指しているのだ。

URは細かな配慮から 包括コーディネーターまで

URは大阪市からの要請を受け、2002年から、うめきたプロジェクトに正式に参加。道路・広場などのインフラ整備や都市公園の整備、民間開発の誘導などを進めている。

前述の國下氏は、多岐にわたるURの仕事に非常に助けられていると語る。「旧貨物駅の土地をURさんが先行取得し、みどりの管理を含めた条件を指定して開発事業者のコンペを行うという手法をはじめ、行政的な手続きから細かな現

場管理、制度づくりまで、URさんなしでは実現しないまちづくり。経験豊かな事業者としての手腕に驚きました」
いったん土地の所有者となって民間企業に譲渡するという方式をとる最大の目的は、個々の乱開発を回避し、統一感をもったまちづくりを実現するため。それが質の高いまちにつながるからだ。

包括的にコーディネーターしながら、細かなことまで配慮する。それはURの身上だが、うめきたのような大規模なプロジェクトで関係機関が多い場合、膨大な打ち合わせや手続きが必要になる。

「皆さんお忙しいなかで、こういう仕組みでどのようにしたら、それぞれが納得したかたちでスムーズに進められるのか、常に模索しています」

と話すURのうめきた担当の林 孝光は、自身の大手町や渋谷の都市再生事業での経験、また虎ノ門などURが手がける他地域のプロジェクト情報を共有し、業務に活かしている。

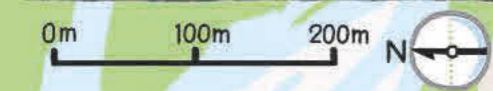
敷地内には、大阪を南北に結び、関西国際空港に直通の特急が停車する新駅も2023年に開業予定で、利便性がさらに高まる。うめきた2期区域の先行まちびらきは翌24年夏の予定だ。

時代に応じた都市機能を集積しながら、「みどり」と共に成長するまち。人と人をつなぐ「うめきた」は、関西の未来を切り開く拠点としても期待されている。

URのまち あのみち このまち 歩いてみよう! その16
東京都多摩市 聖蹟桜ヶ丘駅周辺

URが手がけた土地が、時を経て、素敵なまちに育ちました。地図を手に歩いてみませんか?

エリア	開発前	開発期間
VINTA(ヴィータ) 聖蹟桜ヶ丘	住宅・店舗・駐車場等	1995年~1999年



分倍河原・新宿 京王線

多摩川

多摩市にも観光協会を作ろうとがんばっています! 水も緑もとても豊かな聖蹟桜ヶ丘。その風を感じに来てください!

せいせき観光まちづくり会議 座長 森田 利夫さん

各階のトイレがすごい!

6F → テーマは「究極の癒し」

いきいき市

開店時には行列が売切必至!

市内10軒超の農家が新鮮野菜を持ち寄り月・木の午後に営業。

「はでると恋愛運UP?」ハート型のくぼみ!

御神石は通称「ハート石」

小野神社 武蔵国一之宮

青春のポスト

郵便ポスト

「夢を投函するポスト!」

地元商店会連合会と「耳をすませば」ファン有志が2012年に設置

川崎街道

京王線

南口の顔! VINTA
 Vision and Intelligence of TAmA

知性豊かな多摩市の未来像

VINTAの意味は.....

イタリア語の VITA = 生活人生

UR 聖蹟桜ヶ丘ビュータワ 住宅棟

ヴィータ・コミュニエ

スーパーなどの商業施設と公共施設が入りとても便利!

ヴィータ・コミュニエ7F

光や景色が心地よい!

ガラスばりのロビ、コンサートなども開催。

7Fにはカフェも、カフェレスとな

ラスカル柄マンホール

ヴィータ周りに3ヶ所あります!

関戸公民館 マンホールカード配布中!

ラスカル柄プリントクッキー

大栗川

●多摩市&ショップ×ラスカル

アニメ「あらいぐまラスカル」を制作した日本アニメーションの本社スタジオが聖蹟桜ヶ丘にあるのが縁で、コラボが実現し、幅広く展開中!

「関戸駅」から「聖蹟桜ヶ丘駅」に!

昭和12年に改名

明治15年に「御猫場」となり、明治天皇が4度も狩りに行幸し、「聖蹟」と呼ばれるように。

昔から桜の名所として有名だった。

磯のみ

関戸古戦場跡

歴史のロマンを 想像してみよう

関東大震災のあと、店が日本橋から関戸に移って私は生まれも育ちもここ! この辺は緑がいっぱいで最高です! ぜひ一度来てみてください!

小山商店 榎崎 喜子さん

多摩の白加賀梅を100%使用

6段仕込の深い味わい

多摩の梅酒「白加賀」

すべてのお酒に直筆のポップ付き! 常時約1000種の全国の地酒が揃う

●小山商店 大正3年創業 驚愕の品揃えの老舗酒屋!

「分倍河原の戦い」後、1333年5月16日に新田義貞と北条鎌倉幕府軍がここ関戸で激突! この6日後に鎌倉幕府は滅亡した。

1213年に設けられた関所の木柵を一部復元。

霞ノ関 南木戸柵跡 熊野神社

梅林や竹林、雑木林などに包まれた野趣あふれる公園。

原峰公園

この田んぼのお米を使って、おいしい地酒や味噌が作られる。

どれもとってもおいしい!

原峰のかおり 蔵出し生酒

夕摩市役所(売店ひまわり)

小山商店やJA東京みなみの直売所などで販売。

恋の運だめし! 自販機で1回100円!

石のみ

霞ノ関の物見台の場所にのちに関戸城が作られた。

天守台跡

金比羅宮

いろは坂通り

いろは坂

いろは坂 ジョットカット階段のてっぺんからの眺め

●聖蹟桜ヶ丘は

スタジオジブリの人気アニメ「耳をすませば」のモデルと言われているところ!

一直線の通りを一望!

桜ヶ丘 ロタリー

ノア洋菓子店

「耳をすませば」がある店

アトリエ タッセル

2F席でロタリーを眺めながらフィタイム

日本全国や海外から来たファンのコメントがざっしり!

神戸から何回も来てた男の子がある時彼女を連れて来てさ「記念に何か書けば?」と出したのが「思い出ノート」の始まりだよ。

ノア洋菓子店 店主 金子 清春さん

小さな売店の一角に 充実の地産お菓子コーナーが!

日本アニメーションコラボ プリントクッキー

地粉うどん

桜の塩漬

ほろっと崩れる新食感 桜ぼろぼろん

焼きかりんとう 多摩の散歩道

伝統ある宿場町の基本のつくりを継承しつつ、災害時の安全も踏まえて、広く通りやすい道路や公園を整備した新門脇地区。2棟の復興公営住宅を含め計画戸数は約400戸。



何を入れたかはヒミツの
13年後に
掘り出すのが楽しみ!



町内会では、子どもも参加できるイベントを増やしている。夏まつりではタイムカプセルを埋蔵。取り出すのは震災から20年後の2031年の予定。

宮城県の和太鼓グループ「鼓風」の演奏で幕開けした「石巻市新門脇地区竣工式典」。くすだま割りに合わせて、地元の人たちも風船を飛ばしてお祝した。



復興の「今」を
見に来て!
第14回 Part 1
石巻市
宮城県

まちの将来に希望を託して! 新門脇地区で竣工式典開催



コミュニティづくりにも力を注いでいる新門脇地区。「高齢者が多いので、毎週の体操教室のほかイベントを頻繁に開催して、地域の人々が交流する機会をつくっています。震災後、みんなで助け合おうようになって絆が深まりました」と民生委員の速藤佳子さん。URが整備した復興住宅の集会所は当初小部屋の計画だったが、大勢で使える大部屋に変更してもらえてありがたかったという。

本間会長のその言葉を感慨深く受け止めていたのは、UR石巻復興支援事務所長の松原弘明だ。新門脇のまちづくりは、地権者から土地を一時お借りして、道路や宅地の一体的な整備を行った上で、それぞれに完成した宅地をお返しするという流れ。その計画、交渉も大変だったが、まちの整備の進め方については協議会で侃々諤々の議論を重ねてきた。

「地域の方からは、とにかく早くまちをつくって安全に住める場所を確保して」と言われました。まちづくりの経験がある我々は、計画がかたまれば、その後はある程度進んでいくことがわかります。けれど今になって思えば、地域の方は計画段階ではどんなまちにな



URには市との調整役にもなってもらい助かったと話す、かどのわき町内会の本間英一会長。式典では関係者への感謝と、まちの未来への期待を込めて「この街で」を歌った。

「早くしてくれ」から「待っています」に変化したのは、工事に着手し、スケジュールどおり進むのが目に見えるようになってから。その後は信頼して任せてくれるようになったという。

「反省点はたくさんありますが、事業当初から最

赴任地が第二の故郷

地域の方からかけられる言葉が、「早くしてくれ」から「待っています」に変化したのは、工事に着手し、スケジュールどおり進むのが目に見えるようになってから。その後は信頼して任せてくれるようになったという。



「地域の方や市の職員さんとも仲良くなって、喜んでもらえて、7年間楽しかったです」と語るURの松原弘明。

後まで関わることができ、限られた時間のなかでやれることはやっただけ、達成感があります」と清々しい表情で語る松原。竣工式は終わったが、2019年3月まで事務的な手続きなど気が抜けない業務が続く。7年前、関西から東北に赴任したとき、家族が共に仙台に引っ越してくれたことで、復興の仕事に落ちついて専念できたという。当時、小学3年生だった長女は高校1年生になった。慣れ親しみ、交友関係が深まった石巻は、今や大事な第二の故郷。まちの変遷をこの先も見守り続けていく。



竣工式を終えて握手する亀山 紘市長(左)とURの椿真吾(右)。

石巻市の南側に位置し、石巻湾に向かって広がる新門脇地区。日和山のふもとに広がるこの一帯は東日本大震災の津波とその後火災により市内でも特に打撃が大きかったエリアだ。

URでは2012(平成24)年1月に石巻市役所に職員を派遣、翌年には正式に市と協力協定を締結。高盛土道路や避難路、宅地の盛土、復興住宅や公園の建設など、新門脇地区の安全・安心な暮らしの基盤をトータルで整備してきた。

そしてこのたびURが関わった23・7ヘクタールすべての復興市街地整備事業の工事が完了。8月18日に「石巻市新門脇地区竣工式典」が開催された。式典で石巻の亀山 紘市長は、地域の方たちの思いがかたちになったまちの竣工

への喜びを語り、日和山からこの地区を眺めるたびに、着実に復興が進む様子を力強く感じていると話した。UR宮城・福島震災復興支援本部長の椿 真吾からは事業経過を説明し、経緯をまとめた事業誌を石巻市とかどのわき町内会に贈呈。市と町内会からはURに感謝状が贈られた。

侃々諤々の議論を重ねながら

式典後、かどのわき中央公園は町内会主催の夏祭りの会場となり、子どもたちによるタイムカプセルの埋蔵や盆踊りなどが行われた。焼きそばやかき氷などもふるまわれ、青空の下に広がるのは、老若男女がなごやかに集う光景。その様子に目をやりながら、「やっとここまでこぎつけました」と表情をやわらげていたのは、かどのわき町内会の本間英一会長だ。

「まだ空き地もあります。20年、30年後にどんなまちになっているのか楽しみです。URさんのおかげで、この地区は早く工事が進んだのでありがたい」



まちびらき宣言のあと、市長をはじめ関係者によるテープカット。



矢作小学校の3~6年生が描いた「未来の陸前高田」。



アパッセたかたを中心に、商店や飲食店、住宅も増えてきた。



伊東豊雄氏設計の建物を宇都宮から移築し、交流施設「ほんまるの家」として活用。

戸羽 太陸前高田市長
「長い7年半でしたが、今回のまちびらきで、これからまた頑張ろうというひとつの区切りになりました。次は、今できた箱に、どういった魅力を詰め込むかです。このまちの子どもたちが将来、まちに戻ってこられるような環境を、復興のなかでつくっていく。それがこれからの挑戦です」
まちびらき式典に参加した戸羽市長を囲む、URの栗原 徹岩手震災復興支援本部長(右)、草場優昭所長(左)。



未来の陸前高田の絵を描いて発表した。そのまちには水族館があり、桜や松の並木があり、大人も子どもも動物たちも、みんな笑顔だ。
高田高校の生徒会執行部のメンバー

「私も毎日、この一角で仕事をしていますが、仲間の店も増えてきて、毎日浮き立つような気分です。図書館や広場に人が集まり、いい感じのまちが生まれそうです」とほっとした表情を浮かべていた。
まちの復興は次のステップへ。みんなの気持があらためてひとつになっている。

9月29日には市の東側と中心街を結ぶ「館の沖橋」完成を祝い、地元保育園児と関係者が渡り初めを行った。この事業を担当したUR陸前高田復興支援事務所長

交通アクセスを整備 まちが本格始動

こう話すのは、NPO法人陸前高田まちづくり協働センターの種坂保子さん。NPOが運営する交流施設「ほんまるの家」はまちなか広場にあり、さまざまなイベントを実施しているが、これからはもつとにぎやかになると期待を寄せる。



愛知県出身の種坂さんは、震災の年に復興支援で陸前高田に入って以来、このまちが気に入って住み続けている。

の草場優昭は、「7年6カ月で、やっとここまで来た。この橋が開通して、まちの中心部を通る道路がつながり、人の行き来がしやすくなります。これでさらににぎわいが生まれると期待しています」と感慨もひとしおだ。
そして翌30日には、気仙沼ー盛を走るBRT（バス高速輸送システム）のJR陸前高田駅と駅前交通広場も完成。アパッセたかたでまちびらき記念式典が行われた。式典には将来の陸前高田を担う地元の小・中・高校生たちも参加。矢作小学校の3~6年生たちは、



アパッセたかたのある中心市街地の目の前に、BRTの陸前高田駅の駅舎と交通広場が完成した。

復興の「今」を見に来て！
第14回 Part2
陸前高田市
岩手県

みんなが集まれる 新しい「まちの中心」が始動



「館の沖橋」の開通式。地元の保育園児と戸羽市長や関係者が渡り初めを行った。この開通で南幹線道路がつながり、国道からのアクセスが便利になった。

新しいまちの誕生ですよ〜
にぎやかにいきましょう！

7年半のありがとう。そして、ただいま！たかたまち」

9月29、30日、「陸前高田市まちびらきまつり」が開かれた。子どもたちの元気な声が響き、陸前高田市に新しく生まれた中心街の「まちびらき宣言」が行われた。
東日本大震災の地震と津波によって、市内の99・5パーセントの世帯が被災した陸前高田市。市街地整備エリアは被災3県で最大規模の300ヘクタールに及ぶ。URは大規模なかさ上げと高台移転を中心とした復興土地画整理事

まちびらきまつりでは民謡ステージや講演会、出店があり、最後は写真の「もちまき」も。たくさんの市民が参加した。



業を進め、災害公営住宅の整備、コミュニティ形成のお手伝いなどを通して、陸前高田のまちづくりを支援してきた。
昨年4月には、新しい中心市街地に複合商業施設「アパッセたかた」が完成。7月には同じ建物の中に市立図書館、その隣に「まちなか広場」がオープン。10月には専門店が集まる「まちなかテラス」も開業し、それと前後して、周囲には飲食店や住宅も増え始め、にぎわいが生まれてきた。
「これまでは何かイベントをやる





マザーズバッグ+非常持ち出し袋

赤ちゃん用の「非常持ち出し袋」には、マザーズバッグをそのまま使しましょう。オムツ・おしりふき・ゴミ袋などの消耗品や、スタイ(よだれかけ)・タオル・着替えなどの入れ替え品を、常に最新状態にしてバッグに入れておけば、避難時にそのまま持ち出せます。1分1秒を争う場合はマザーズバッグ+非常持ち出し袋を持って避難。余裕があれば、食料品・オムツや着替えの予備などを大型のバッグに追加して持って行きましょう。母子手帳やお薬手帳の内容を、更新するたびにスマホで撮影しておくことも有効です。

先を見据えた日常備蓄

妊娠期間や乳児の間は、1週間1カ月単位で必要なものが変わります。例えばオムツを「今使っている大きさ」で買ってしまうと、いざというときに使えないことも。消費ペースを考えながら、1~2カ月後に使用するものを先に購入し、備蓄品にするといいでしょう。



たかにともや

「備え・防災は日本のライフスタイル」をテーマに、自身が運営するWebサイト、各種メディアやセミナーを通じて防災を解説するフリーのアドバイザー。

「備える.jp」
<http://sonaeru.jp>

文・写真 高荷智也(ソナエルワークス代表)

赤ちゃん和妈妈の防災対策

マザーズバッグと先取り日常備蓄で、無理をしない防災を

ただでさえバタバタと慌ただしい育児期間。いつ起きるかわからない災害に万全の備えをすることは、わかっていても難しいものです。赤ちゃんのいる家庭では、気合いを入れて災害に備えるのではなく、普段の生活に防災の要素を取り入れる手法がなじみます。

なお、少しでも防災をがんばるのであれば、おすすめは非常用トイレとカセットコンロ&ガスボンベの備蓄です。赤ちゃんを守る在宅避難に欠かせないアイテムですので、1週間分程度の量を準備すると大変役立ちます。

まずは命を守る環境をつくる

大地震が起きた場合、赤ちゃんの周囲の環境がそのまま生死に直結します。赤ちゃんのベッドや布団を危険から守るため、家具の固定、落下物の撤去は万全に。津波・洪水・土砂災害が生じる地域である場合は、持ち出すグッズ類の準備と「避難場所」の把握が欠かせません。また、被災時、遠方に親戚知人がいるならば、短期疎開をおすすめします。一方、自宅が無事であれば、避難所ではなく「在宅避難」が有効です。前述のトイレをはじめとする備蓄品の準備をしておきましょう。

文・写真 黒田健太郎

丈夫でかわいい多肉植物を寄せ植えで楽しむ

プクプクと肉厚でかわいらしい多肉植物は、葉、茎、根に水分と栄養を貯蔵しているので乾燥に強く、日当たりと風通しのよい環境であればベランダで気軽に育てることができます。多肉植物の種類は2万種以上ともいわれ、葉や茎の形や色、質感もそれぞれ個性的です。寄せ植えで組み合わせの妙を楽しみましょう。

今回の寄せ植えは、こんもりと鉢からあふれ出るようなイメージで仕上げました。密集させて植えると苗同士が自然になじみ、全体にナチュラルな雰囲気になります。上手に作るコツは、それぞれの苗の根鉢の崩し方にあります(手順参照)。また、鉢の縁近くは低く、中央を少し高くしてこんもりと見えるように植えると美しいシルエットになります。枝が垂れる品種を鉢の縁からあふれさせるように植えれば、鉢と植物に一体感が生まれ、躍動感が加わります。

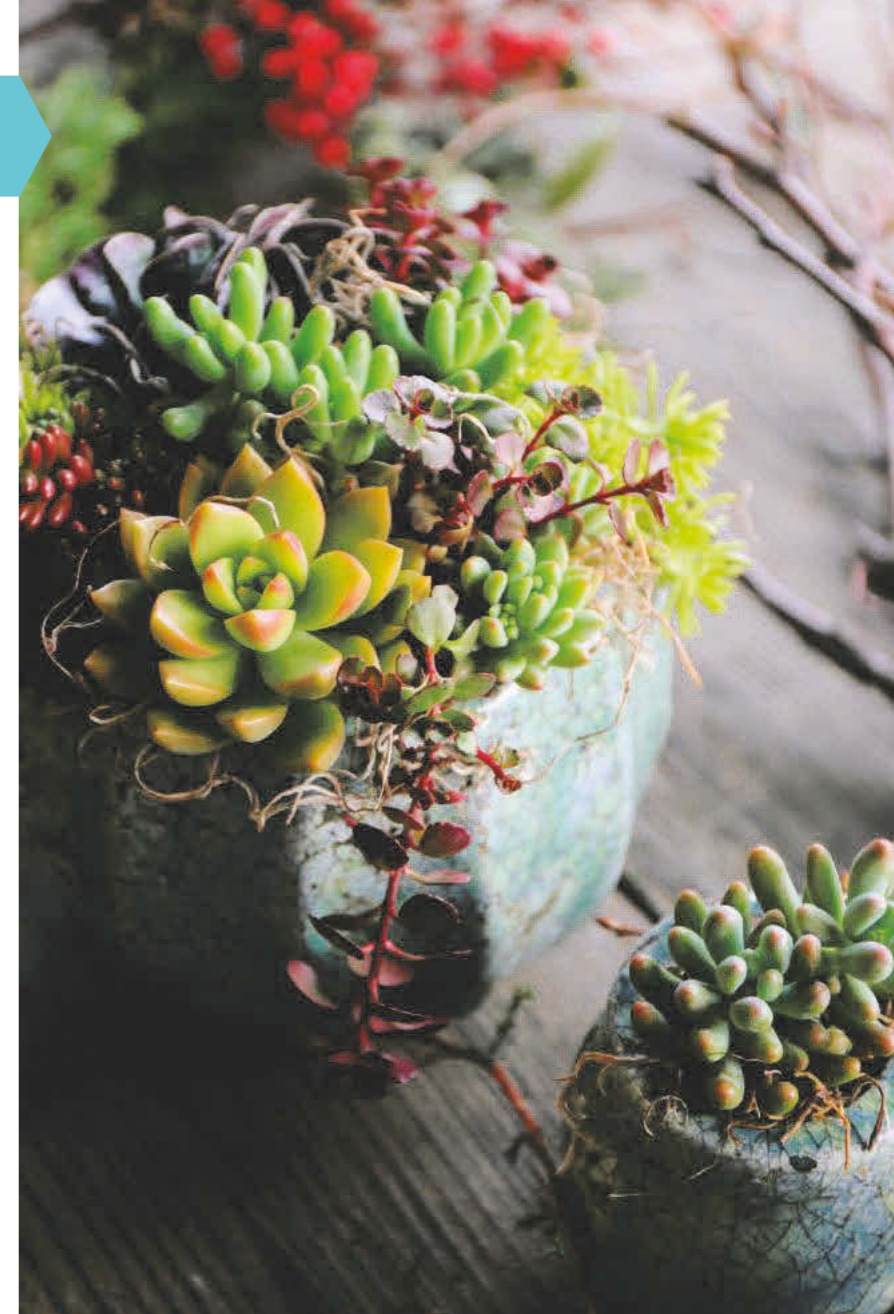
手順

密着して植えやすいように根鉢をスリムにするのがコツ

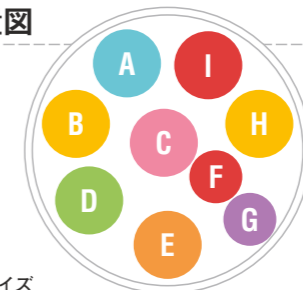
- 鉢穴をネットでふさぎ、鉢の高さの1/5まで鉢底石を入れ、鉢の半分程度まで土を入れる。
- 苗の根鉢の底部分はあまり触らず、側面の土をやさしく落とす感じで根鉢を崩す。
密着して植えたいので根鉢を細長くスリムにします。といっても大胆に土を落とし過ぎてしまうとグラグラして植えづらくなります。写真を参考にしてください。
- 一番奥のAから植える。ウォータースペースが1~1.5cmになるように高さを決め、土を指でやさしく寄せる。右利きの人は左回りで、左利きの人は右回りで植えると苗の上に土を落とさずにきれいに植えることができる。株間に土を寄せ、苗がぐらつかないように指で押さえながらABCDEFGHIJの順で植えていく。強い力で土を押し込むと水はけが悪くなるので、やさしく押さえる程度で。
- 仕上げに、土が見える部分にスパニッシュモスを敷く。



中央に他より少し背の高い苗を選び、それ以外の苗は鉢の外側に倒し気味に植えるとこんもり茂った仕上がりになる。



配置図



鉢のサイズ
直径18cm、高さ15cm 正面

- A アドロミスクス
- B・H ゴールドビューティー
- C 乙女心
- D 虹の玉
- E サンライズマム
- F・I ドラゴンズブラッド
- G スノージェイド

管理のポイント!

完成したら一度たっぷり水をやって土を落ち着かせて、なるべく長時間日の当たる風通しのよい場所に置きましょう。その後は土がしっかりと乾いたのを確認してから水をやります。

くろだけんたろう

埼玉県生まれ。園芸店「フローラ黒田園芸」勤務。自由な発想が生み出す洗練されたスタイルの寄せ植えが熱く支持されている。「12ヶ月の寄せ植えレシピ」(グラフィック社)ほか著書多数。

フローラ黒田園芸 <http://florakurodaengei.com/>



錦糸卵

牛タン

熱したフライパンに油を入れずに牛タンを並べ、いらずに焼いていく。表面に肉汁が出てきたタイミングで裏返して両面焼き上げる。焼き上がった牛タンを二等分に切り、玄米ごはんのせる。



今回は厚切り生牛タンを120g使用。はじめに両面に斜めに隠し包丁を入れ、切れ目が裏表で格子状になるようにして、両面に塩を適量ふって置く。

味噌南蛮漬け

牛タンに欠かせない一品。牛タンと一緒に、またはごはんのせて。

揉み漬け

牛タン定食によく添えられている揉み漬け。キャベツ、キュウリ、にんじんを食べやすい大きさに切り、千切りしょうが少々、粉末の昆布茶、塩を加え、ビニール袋に入れて揉み込む。冷やせば完成。さっぱりした味が、口直しに最高!



仙台笹かま

僕が住む仙台には魚介や米、野菜などおいしいものがたくさんありますが、仙台といえは「牛タン、笹かま、萩の月」という三拍子揃った名物を思い浮かべる人が多いことでしょう。牛タンといっても、残念ながら仙台牛のタンはごくわずか。多くは海外からの輸入品ですが、仙台は牛タンを厚切

り出すお店が多いのが特徴です。初めて食べる人はその見た目と柔らかさに感動するはず。ああ、食べたい! ですが牛タン店は観光客で混んでいるうえ、定食は2500円以上することが多いので、地元でもなかなか食べられません。ということで、自分で牛タン弁当を作りました。

文・写真 相田幸二

1975年、山形県米沢市生まれ。現在は宮城県在住。「幸せ料理研究家」としてテレビや雑誌で活躍。『こうちゃんの簡単料理レシピ』(宝島社)シリーズは230万部を超えるダブルミリオンセラーに。

ブログ「こうちゃんの簡単料理レシピ」
<http://ameblo.jp/wanwan2005/>



男子弁当のススメ!

牛タン弁当

NEWS

「江古田の杜プロジェクト」でまちびらき開催

多 世代により育まれる持続可能な地域をつくる」をコンセプトに、総合東京病院、積水ハウス、URが連携して進めてきた「江古田の杜プロジェクト」(東京都中野区)。住宅や医療、保育施設などの複合プロジェクトとして注目を集めるこのまちのすべての施設が完成し、9月23日にまちびらきが行われました。当日は周辺地域を含めたお住まいの方など約1000名が集まり、多彩なイベントをお楽しみいただきました。今後のまちの発展に期待が高まります。

「江古田の杜」のまちびらき記念植樹。豊かな緑の中に、賃貸・分譲マンションをはじめ病児・病後児保育に対応する病院、サービス付き高齢者向け賃貸住宅や介護付き有料老人ホームなどが集まっている。



居住者や地域の方の交流拠点「リブインラボ」は、まちびらきのイベントでも活躍。食事ができるダイニングやキッズルーム、スタジオなどの施設も完備。

NEWS

熊本県御船町古閑迫で災害公営住宅の建設工事に着手。安全祈願祭を開催

U Rでは平成28年熊本地震からの復興に向けて、災害公営住宅の整備支援を行っています。このたび御船町古閑迫地区で災害公営住宅の建設工事に着手するにあたり、9月22日に安全祈願祭を開催しました。御船町ではURとして初めての災害公営住宅の建設です。

古閑迫地区に木造戸建て住宅10棟を建設予定。



御船町で開かれた安全祈願祭であいさつする藤木正幸町長。



From Editors

以前訪れた時は、かさ上げの土が至る所に積み上がっている状態でしたが、5年ぶりの陸前高田は、中心地に商業施設や住宅が立ち並び、まちびらきを祝う人々の笑顔と活気であふれていました。

まちびらきまつりでは、多くの人に出会えました。地域貢献活動をしている元気な中学生たち。他県から復興支援の仕事で来て以来、陸前高田が好きになってまちづくりに携わる方。これから建てる新居に期待を寄せる年配の方。地元でおいしいりんごを一生懸命作っている方々。

前を向いて進む皆さんとお話を伺って、まちは、人々が少しずつ積み上げてつくれるものだと改めて実感しました。

(UR都市機構・広報担当F)

次号のお知らせ

「UR PRESS」56号は2019年1月末発行予定です。

「UR PRESS」オンライン版もお楽しみください!

「UR PRESS」はパソコンやスマートフォンでもご覧いただけます。巻頭インタビューや記事のオリジナル動画なども掲載しています。ぜひご覧ください。

UR PRESS

で 検索

<https://www.ur-net.go.jp/publication/web-urpress/>



YouTubeでもさまざまな動画がご覧いただけます

UR都市機構の公式YouTubeでは、UR賃貸住宅、都市再生、ニュータウン、震災復興など、URのさまざまな事業や情報を動画でお伝えしています。「UR PRESS」オンライン版でこれまでに紹介した動画や、テレビCMなどもアップしています。ぜひご視聴ください。

<https://www.youtube.com/user/URTOSHIKIKO/>

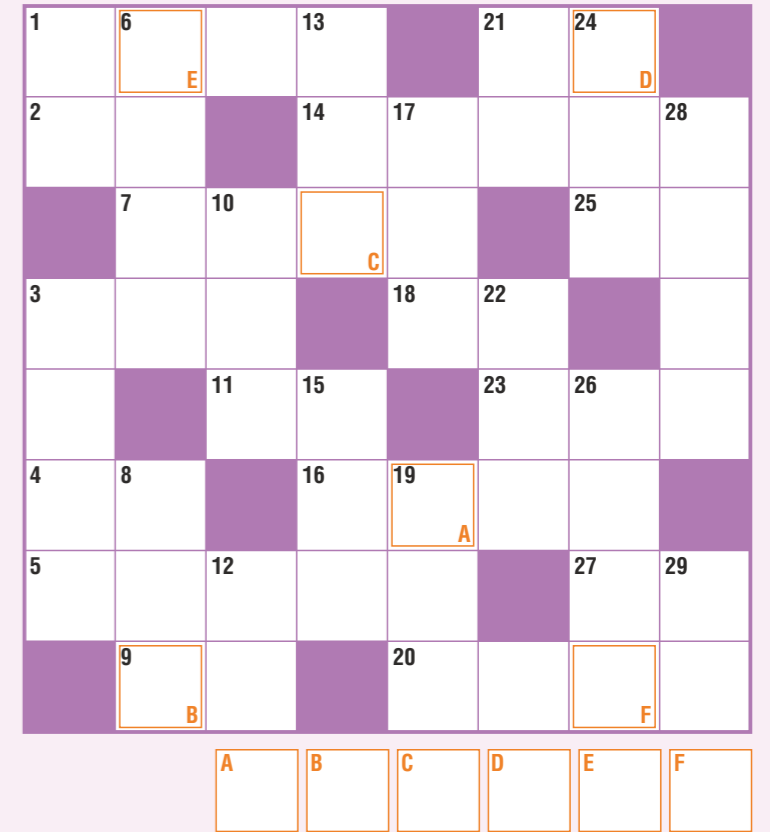


ヨコのカギ

- 誰の——も受けず、独力で成し遂げたぞ
- ペアになっていること。——の屏風
- 四コマのおなじみ
- マップ。世界——
- 成績は全員——で、抜きこんでいる人はいませんでした
- 宣伝をするもの
- 塩水がたくさんあるところ
- このスミを使ったパスタもあります
- 言葉の使い方
- ガラパゴス—— 小笠原——
- 上りや下りのある道
- 赤・橙・黄・緑・青・藍・紫といえば、虹の——
- に入っては——に従え
- 花が開く前の姿
- 姉の夫は、自分にとっては——の兄
- 放牧地の周りにめぐらされていたり

タテのカギ

- 磁石にくっつく金属といえば
- 筋骨隆々、——なボディビルダー
- おろし 二十日—— 桜島——
- 絵を描いたり、粘土細工をしたりする小学校の教科
- ガラガラクチュクチュとノドや口の中をきれいにします
- サーフィンで乗るもの
- 練習したり習ったり。お花の——
- 文字をイニシャルとも言います
- 腹が減っては——ができぬ
- 正式名称よりもよく使われそう。通称ともいいます
- 油 白—— ——塩
- ヘア—— ショート——
- ジャケットとかブルゾンとか
- 阪神・淡路大震災をきっかけに整備が進んだ——公園
- うまくできる自信がないので、ついつい——しちゃう
- 星は、大相撲で負けた印



プレゼント&応募方法

クロスワードパズルを解いて、プレゼントにご応募ください。

PRESENT ① 携帯トイレ 5名様

いざというときに安心な手のひらサイズの携帯トイレ。抗菌性凝固剤で消臭効果が長持ち、匂いを逃がさない口止めバンドや持ち帰りに便利な処理袋付き。5セット入り。



PRESENT ② アルファ米 5名様

非常食としてはもちろん、キャンプや山登りの時にも便利なアルファ米。開封して水かお湯を注ぎ、しばらくおくだけでふっくらごはんに。3パックをセットで。



PRESENT ③ 多摩の地酒「原峰のいずみ」5名様

地元の湧き水を利用して「あいが農法」によって栽培された麴米をはじめ、原料、醸造ともに多摩にこだわった地酒(720ml)。香り豊かでさわやかな飲み口が特徴、多摩地域でしか入手できない逸品です。



●応募方法

本誌付属の応募はがきに、クロスワードパズルの答えと希望プレゼント番号、必要事項をご記入の上、郵送してください。

※応募はがきに記載のQRコードからもご応募いただけます。

●応募締め切り

2019年1月31日(当)消印有効

当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

※お酒のご応募は20歳以上の方に限りさせていただきます。

54号の解答

ニ ユー タ ウ ン

